

「自画像」

1943年ごろ、油彩、板 27・3㌢×22・2㌢

松本竣介（1912～48年）

大川美術館では10日から、企画展「ベン・シャーンーつたえる手」が始まりました。同時開催として、コレクションの展示室では「松本竣介と同時代の画家たち」と題して松本竣介の画友たちの作品をご覧いただいています。この自画像を見ていると、きっと本人は、素直で、真面目で、人を疑うことを知らない好青年だったのではと思われます。

このような青年画家が、妻禎子とともに始めたのが、「雑記帳」（1936年10月創刊）という月刊誌でした。わずか14号で廃刊となりましたが、230人に及ぶ各界の文化人たちが寄稿していました。これをテーマにした展覧会が現在、東京四ツ谷の新宿歴史博物館で、「松本竣介と『雑記帳』―下落合の『綜合工房』」展として開催中です（11月23日まで）。どうぞ、こちらにもお出掛けください。

（田中）

〈名画の扉〉

大川美術館コレクション展から